Ａ－３　学校研究の取り組み

徳田っ子の実態

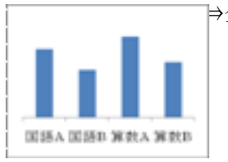
Research

＜昨年度の成果と課題より＞

◎自分の考えとその理由を話そうとする子が増えてきた。
◎自分の考えをまとめて書く力がついてきた。（自学ノートやレポートなど）
△学ぶ意欲が二極化傾向にある。（考えたり説明したりする意欲）
△相手意識・目的意識が低く，説明に戸惑う子がいる。（スキル不足）
△基礎基本の定着が不十分な子

＜学力調査より＞

（全国学力･学習状況調査，県基礎学力調査）
◎四則計算（整数，小数，分数）
量感（長さ），平行四辺形の性質
△書く力（字数限定，書き出し，メモ）
割合の意味理解，言葉や式で説明



⇒全国･県との比較により算数より国語に課題あり

＜活用に関する意識調査＞

５月全校児童実施

①自分の考えやその理由をわかりやすく説明しようとしていますか
②新しいことを学ぶときは，これまでに学んだことをもとにしながら考えるようにしていますか
⇒特に②は昨年度より 10%up↑
①は高学年ほど Down↓

徳田っ子の課題⇒「学習意欲の向上」「書く力（条件にあうように）の向上」だ！

Plan

活用力を高める５つの学習活動

～「つなげて考える力」「説明する力」を高める学習活動の具体化に向けて～

		低	中	高
【生活科】				
つなげて考える力	①これまでの経験や気付きと，自分の思いや願いを比べる活動	◎		
	②体験と，自分の思いや願いをつなげる活動	◎		
	③他の人の思いや願いと，自分の思いや願いをつなげる活動	◎		
説明する力	④出べたりつなげたりしながら，自分の思いや願いを伝え合う活動	◎		
	⑤体験したことや思ったことを，実演したり言葉や絵などで表現したりする活動	◎		
【理科】		低	中	高
つなげて考える力	①生活経験や既習事項をもとに問題を見出す活動		◎	◎
	②課題解決への見通しをもって，実験方法を考える活動		○	◎
	③観察・実験やものづくりを通して，身近な現象を見直す活動		◎	◎
説明する力	④観察・実験の結果や考えたことをグラフや表・図等にして説明する活動		◎	◎
	⑤科学的な言葉を使ったり，自分の言葉に言い換えたりして説明する活動		◎	◎
【社会科】		低	中	高
つなげて考える力	①社会的事象とつなげて課題を見出す活動		◎	◎
	②観察・調査をしたり，資料を活用したりして課題解決に必要な情報を集める活動		◎	◎
	③集めた情報を比較・関連付け・総合しながら再構成する活動		○	◎
説明する力	④調べたことや考えたことを，根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明する活動		◎	◎
	⑤調査したことや資料を効果的に活用し，事象の特色や事象間の関連を説明する活動		○	◎

		低	中	高
【国語科】				
つなげて考える力 ③	①生活経験や既習事項とつなげて，学習の見通しをもつ活動	◎	◎	◎
	1．自分の考えをまとめるために，相手や目的に応じて話したり，自分とかかわらせて聞いたりする活動	◎	◎	◎
	2．自分の考えが明確になるように，読み手を意識して書く活動	○	◎	◎
	3．自分の考えが明確になるように，書き手の意図を読み取って読む活動	○	○	◎
	③場面や状況に応じて言葉を選んだり理解したりする言語感覚を育てる活動	◎	◎	◎
説明する力 ④	1．書いたものや読んだことを発表し合い，交流する活動	◎	◎	◎
	2．互いの考えや立場などを尊重しながら，互いに協力し合って話し合う活動	○	◎	◎
	③相手に分かりやすいように説明したり，事物のよさを多くの人に伝えたりする活動	○	○	◎
【算数科】		低	中	高
つなげて考える力	①生活経験や既習事項とつなげて考える活動	◎	◎	◎
	②図形の観察や構成を通して考える活動	◎	◎	◎
	③式と具体的な場面をつなげて考える活動	◎	◎	◎
説明する力	④言葉や数，式，図，表，グラフなどを使って自分の考えを説明する活動	◎	◎	◎
	⑤算数用語を使って，筋道立てて，自分の考えを説明する活動	○	◎	◎

取り組みの方向性

「つなげて考える子」とは
自分なりの考えをもち，そう考えた何らかの理由をもっている子
⇒視点①既習や生活経験から
②友だちの考えから
③根拠となるものから
（文章，資料，結果等）

「説明できる子」とは
わかりやすくなるように工夫しながら説明することができる子
⇒視点①つなぎ言葉を使って
②何かを見せながら

＜単元計画の作成にあたって＞
・活用力を高める５つの学習活動
・めざす子どもの姿
・活用力の視点
を必要に応じて明確に位置づける

Do

活用型授業デザイン

	☆活用力向上の具体的な手立て	ポイント
つかむ	・既習や前時を活かして課題をつかませる ・比べることにより本時との違いを明確にする ・既習事項を掲示やカード化しておく	・本時で必要となる既習とは何かを明確にしておく
考える	・考えるための視点を明確にする ・同じ型やパターンを使って考えさせる ・具体物を使った操作活動を通して考えさせる ・絵や図で考えさせる	・活動したり絵や図でかいたりする中で，その目的や視点をはっきりさせておく
深め合う	・説明の仕方や話型をパターン化する ・絵や図，写真等を使って説明させる ・ペアやグループで説明しあう場を設ける ・相互評価させる	・「自分の考えを表す言葉」を意識して説明させる ・「ペア，グループ，全体」と多様な場を設定し，相手意識のもてる説明をさせる
ふりかえる	・ふりかえりカードを使って活用のよさを実感させる	

これまでの活用に関する研究授業及び指導案から，その手立てを分類整理し，「活用型授業」を探った。

こんな手立てで！

1. 問題解決型の授業設計と考える場の保障

（指導の重点）
①「活用力を高める５つの学習活動」…国・算・理・社・生
②　つなげて考える力＋説明する力

2. 課題設定の工夫

・身近な生活や経験との関連，多様な考え方に対応，課題解決への意欲の高まり

3. 活用のよさを実感できるふりかえり

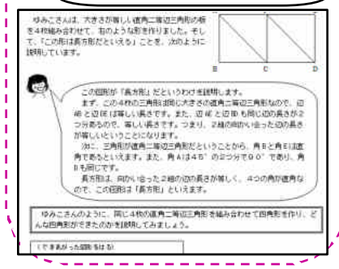
「活用する力」ふりかえりカードを使って

考えを表す言葉

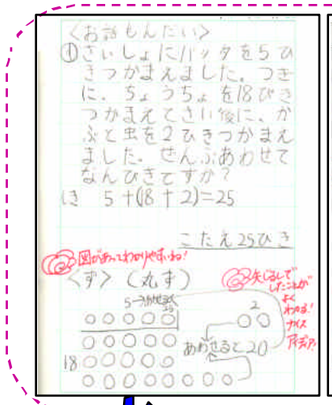
自分の考えとその理由を説明するには，こんな話し方ができるといいね！

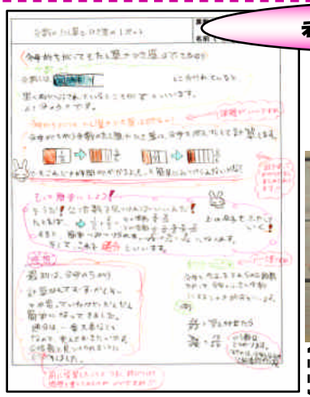
活用力自作テスト

授業改善につながる
活用力テストの作成



考えをまとめて書く場の設定





＜ルーブリック評価の工夫＞
・今年度は「算数レポート」で！
・ものさしの共有を具体化

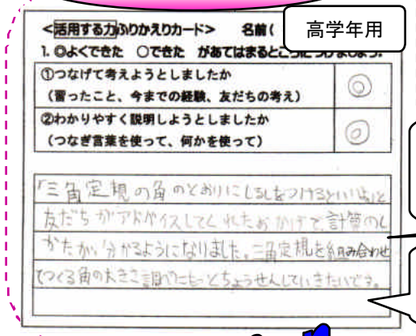
活用力の可視化に向けて

全校掲示による
よいモデルの提示

	＜すてきな算数レポートを書くために＞	
子どもに	＜わかりやすくまこう＞ ①課題，まとめを入れる ②絵や図などを入れる ③小見出しを入れる ④つなぎ言葉（まず，次に・・・） ⑤色やかこみを入れる	＜自分の考えや思いを入れてまこう＞ ①自分の考えや思ったこと，気付いたことを書く ②考えや思ったこと，気付いたことの理由を書く ③友だちの考えを書く
評価の視点	わかりやすさ	オリジナル
評価規準	わかりやすくなるように工夫して書いている	自分の考えや思い，気付きを書いている
A	○のほかに△などの工夫がある	
B	○がある	
C	○がない	

ふりかえりカード

高学年用

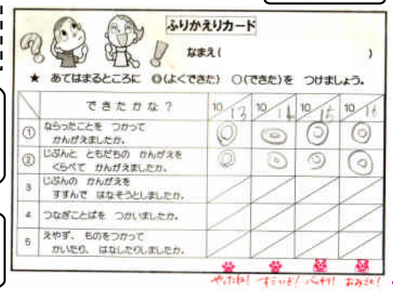


～「つなげて考えた」「わかりやすく説明できた」「またやってみよう」という子どもたちの思いを引き出すためのふりかえりをめざして～

＜子どもたちのふりかえりより＞
・Ｄ班の考えもＣ班の考えもすごくいいと思います。計算して答えもわかっているけど，図で表すのが難しかったです。

・Ｓさんの班と比べたら，答えは小数と分数でちがっていたけど，考え方は同じだということがわかりました。

低学年用



Check

こんな子どもの姿が目立ってきた！

◎成果
・つなげて考えることを意識できる子
（既習を使う，友だちの考えをいかす，生活経験をいかす）
・自分の考えとその理由を説明する子
・話型やつなぎ言葉を使いながら説明できる子

△課題
・つなげて考えようとしたり，説明しようとしたりする意欲の低い子
（活用する意欲の個人差）

手立てや支援のポイントになったのは？

・意識化を図るための掲示やふりかえりの工夫
・つなげて考えることを意図した授業展開と手立て
・説明する場面（ペア，グループ等）の増加

原因を分析してみると…
学ぶ意欲の低下，学力の二極化傾向，コミュニケーション力の低下

Action

改善の方向性は？

・学ぶ意欲を高める
→基礎的・基本的な知識・理解の習得と活用力向上のバランスをとった単元計画の作成
・つなげて考え説明する意欲を高める
→個人内評価の重視
・学習形態を工夫する
→ペアやグループ等によるコミュニケーションの場の増加と工夫

学校研究の面から必要なのは？

・言語活動の充実との関連強
・活用力の評価計画の具体化
・習得型授業のクローズアップ
・総合的な学習の時間との関連
（習得―活用―探究）